



⑫

4年ほど前、つがる市の牛淵小学校（後に廃校）の校長から講話のオファーがあり、私が入学（3年時に転校）した学校だったので二つ返事で了解した。

講話の数日後、全校児童から感想文が届いた。圧倒的に「ナポレオン」と「お天気」とわざ」が楽しく、「特別警報」のことがためになったと書かれていた。

天気予報の中で最も重要な情報は注意報と警報。だから、ラジオやテレビの天気予報ではまず注意報と警報から始まるのが普通だ。

冒頭に挙げた「ナポレオン」も天気予報の警報と関係がある。世界で初めての天気図による天気予報が、クリミア戦争をきっかけに1856年にナポレオン3世が船舶向けに発表した「暴風警報」だとされているのだ。

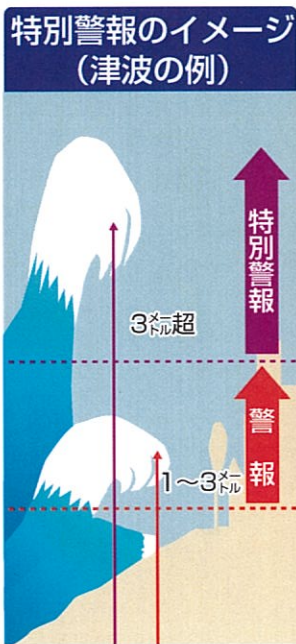
日本ではフランスより27年遅い1883年から警報を発表するようになり、翌84年6月1日から天気予報を発表するようになった。また、1875年6月1日に気象観測が始まり、後に6月1日が「気象記念日」になった。9月1

大被害予想時に発表

今月のお題 特別警報



茨城県の鬼怒川の堤防が決壊した2016年9月の豪雨でも、特別警報が出された



注意報・警報・特別警報の種類	
注意報	大雨、洪水、強風、風雪、大雪、波浪、高潮、雷、融雪、濃霧、乾燥、なだれ、低温、霜、着氷、着雪(計16種類)
警報	大雨、洪水、暴風、暴風雪、大雪、波浪、高潮(計7種類)
特別警報	大雨、暴風、暴風雪、大雪、波浪、高潮(計6種類)
特別警報扱い	緊急地震速報(震度6弱以上を予想した場合) 大津波警報(居住地域) 噴火警報(居住地域)レベル4とレベル5

「土砂災害警戒情報」は大雨警報と大雨特別警報の間に相当

日の「防災の日」に比べて知名度の低い「気象記念日」を、子どもたちに覚えてもらったことは素直にうれしい。

さて、21世紀になって「緊急地震速報」など新しい情報が増え、4年前にはスーパー警報と言える「特別警報」もできた。特別警報は、警報の象情報も続々発表されるようになった。

発表基準をはるかに超える、人が一生に一度くらいしか経験できないほどの大被害が予想される時に発表される。青森県内にはまだ発表されたことがないが、発表されたら大げさに警戒してほしい。

また、まだなじみのない気象情報も続々発表されるようになった。そのためか、近年は注意報の発表がやたらに多いと感じる。中でも、雷注意報の発表回数が多く、当然根拠があつての発表とは思いますが、現象の伴わないことが多いと注意報軽視につながり、注意報も天気予報同様の中率アップに期待する。

また、気象庁の予報現場では、空振りも良しとするが、見逃しは絶対ダメということになっている。そのためか、近年は注意報の発表がやたらに多いと感じる。中でも、雷注意報の発表回数が多く、当然根拠があつての発表とは思いますが、現象の伴わないことが多いと注意報軽視につながり、注意報も天気予報同様の中率アップに期待する。

「土砂災害警戒情報」は大雨警報と大雨特別警報の間に相当

しかし素晴らしい情報も、正しく理解され賢く利用されない、防災・減災や市民生活に役立たない。増える一方の情報を、ホームページ掲載などだけでなくとまらず、創意工夫で高齢化時代にも対応して発信することを願う。

(工藤淳、気象予報士・防災士、アップルウェザー社長、青森市在住)

※次回は4月18日に掲載予定。